

北電子製CPUボード **HSB** タイプ F は、フラッシュメモリを内蔵したルネサステクノロジ製 F-ZTAT™ を実装した評価用 CPU ボードシリーズです。F-ZTAT™ の特徴を活かした F-ZTAT™ 書換えインターフェースと、シンプルながらも CPU 拡張バスや I/O バス、評価用 LED やスイッチ、さらにモード切替スイッチを実装し、すぐに活用が可能です。CPU の実装方法は、半田付けでの直付け仕様とルネサステクノロジ純正フル ICE 用指定ソケットを使用したソケット仕様からお選び下さい。(ソケット仕様:型名末尾に**-S**)

製品内容

CPU ボード	1 枚
DC 電源ケーブル	1 本
※コネクタ片側圧着済み 30cm	
回路図	1 部
取扱説明書(本誌)	1 部

CPU ボード

製品型名と実装CPUは次の通りとなります。

ボード上に記載された製品型名は下表シリーズ共通となりますので、製品型名は下表に則り、実装CPU天面に印字されたマーク型名でご確認下さい。

CPU ボード型名	実装CPUマーク型名	内蔵ROM	内蔵RAM	クロック	ボード電源電圧	9 番
HSB8S2144F	HD64F2144FA20	128KB	4KB	19.6608MHz	DC+5V	Vcc
HSB8S2144VF	HD64F2144VFA10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2144AF	HD64AF2144FA20	128KB	4KB	19.6608MHz	DC+5V	VCL
HSB8S2144AVF*	HD64AF2144AVFA10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2145BF	HD64AF2145BTE20	128KB	4KB	19.6608MHz	DC+5V	VCL
HSB8S2145BVF	HD64AF2145BVFA10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2148F	HD64F2148FA20	128KB	4KB	19.6608MHz	DC+5V	Vcc
HSB8S2148VF	HD64F2148VTE10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2148AF	HD64AF2148FA20	128KB	4KB	19.6608MHz	DC+5V	VCL
HSB8S2148AVF*	HD64AF2148AVFA10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2148BF	HD64AF2148BFA20	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+5.5V	Vcc
HSB8S2140BVF	HD64AF2140BVT/TE10	64KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8S2141BVF*	HD64AF2141BVFA10	128KB	4KB	9.8304MHz	DC+3.3V	Vcc
HSB8/3437SF	HD64F3437SF16	60KB	2KB	14.7456MHz	DC+5V	Vcc

ソケット仕様時
実装 CPU パッケージ: FP-100B または TFP-100B 実装ソケット型名: IC149-100-125-B5 (山一電機)

*9 番...CPU 端子 9 番(備考 5 参照)

A/D 入力 入力抵抗: 1MΩ
入力電圧範囲: 0~AVREF

ボード外寸
61×89mm(弊社規格サイズ A)

【実装コネクタと適合コネクタ】

コネクタ	実装コネクタ型名	メーカ	極数	適合コネクタ	メーカ
J1 拡張バス	H310-050P	IPI	50	FL50A2FOG 準拠	OKI 電線または準拠品
J2 F-ZTAT プログラム I/F	FL20A2MA	OKI 電線	20	FL20A2FO 準拠	OKI 電線または準拠品
J3 DC電源入力	CLP2502-0101	SMK	2	W-A3202-2B#01	SMK
J6 I/O	H310-050P	IPI	50	FL50A2FOG 準拠	OKI 電線または準拠品

J1・J2・J4はMIL規格準拠 2.54 ピッチボックスプラグ(切欠き中央1箇所)を使用しております。記載メーカ以外でご利用可能な場合もございます。

【スイッチ・ジャンパ】

NO.	信号名	備考
SW1-1	5 MD0	動作モード選択用 ※詳細は右表参照
SW1-2	6 MD1	
SW1-3	NC	
SW1-4	36 Vref	A/D変換基準電圧入力 ON...基板 Vcc OFF...コネクタJ2 23P より
SW2	11 PS2CC/*KIN14/CIN14/A22/PA6	評価用スイッチ (押すと"L"信号発生)
SW3	10 PS2CD/*KIN15/CIN15/A23/PA7	
SW4	1 *RES	
J5	J2 でSCK信号を使用しない場合、オープン (回路図参照)	

<動作モード>

	MD1 SW1-2	MD0 SW1-1	内蔵 ROM	
モード0	ON 0	ON 0	—	禁止
モード1	ON 0	OFF 1	無効	拡張モード
モード2	OFF 1	ON 0	有効	アドバンス拡張モード
モード3	OFF 1	OFF 1	有効	シングルチップ拡張モード

(信号名には CPU 端子番号が付記されています)

【評価用 LED】 8 個 シングルチップモードで評価可

D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9
P30	P31	P32	P33	P34	P35	P36	P37

【備考】

- AVREF を J2 23 番へ供給せずに、SW1-4 を OFF にして使用すると CPU を破損する恐れがあります
- 次の表のように、ボード電源電圧に応じてリセット回路の抵抗値が異なります

VCC	5V	3.3V
R3	12KΩ	11KΩ
R4	4.7KΩ	10KΩ

※ソケット仕様でのCPU着脱時は
型名と仕様をご確認下さい

- コネクタ J1・J6 は背面実装となりますので、切欠き位置・ピン番号にご留意下さい。
- J2 から内蔵ROMへのユーザプログラムの書込みが可能です。

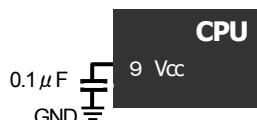
(オンボードプログラミングモード)

弊社オンボードプログラムの書込みでは、プログラマ側設定でブートモードへの自動制御が可能です。(信号表参照)

- 上記表内記載のCPU端子9番は、CPUに応じて処理が異なります。

VCL 端子の場合

Vcc 端子の場合



【コネクタ信号表】 (信号名には CPU 端子番号が付記されています)

J1 拡張バス (50P)

No.	信号名	No.	信号名
1	GND	2	GND
3	NC	4	25 *ADTRG/*IRQ2/*ECS2/*LWR/P90
5	16 SDA0/*WAIT/P97	6	24 *IRQ1/P91
7	7 NMI	8	1 *RES
9	23 *IRQ0/P92	10	97 TxD1/*IRQ3/P84
11	98 RxD1/*IRQ4/P85	12	99 SCL1/SCK1/*IRQ5/P86
13	19 *IOW/*HWR/P94	14	22 *IOR/*RD/P93
15	18 *CS1/*IOS/*AS/P95	16	8 *STBY
17	17 EXCL/φ/P96	18	NC
19	30 PA3/A19/CIN11/*KIN11/PS2AD	20	31 PA2/A18/CIN10/*KIN10/PS2AC
21	47 PA1/A17/CIN9/*KIN9	22	48 PA0/A16/CIN8/*KIN8
23	60 P27/A15/PW15/CBLANK	24	61 P26/A14/PW14
25	62 P25/A13/PW13	26	63 P24/A12/PW12
27	64 P23/A11/PW11	28	65 P22/A10/PW10
29	66 P21/A9/PW9	30	67 P20/A8/PW8
31	72 P17/A7/PW7	32	73 P16/A6/PW6
33	74 P15/A5/PW5	34	75 P14/A4/PW4
35	76 PW3/A3/P13	36	77 PW2/A2/P12
37	78 PW1/A1/P11	38	79 PW0/A0/P10
39	89 HDB7/D15/P37	40	88 HDB6/D14/P36
41	87 HDB5/D13/P35	42	86 HDB4/D12/P34
43	85 HDB3/D11/P33	44	84 HDB2/D10/P32
45	83 HDB1/D9/P31	46	82 HDB0/D8/P30
47	VCC	48	VCC
49	GND	50	GND

J6 I/O バス (50P)

No.	信号名	No.	信号名
1	21 PS2BC/*KIN12/CIN12/A20/PA4	2	20 PS2BD/*KIN13/CIN13/A21/PA5
3	11 PS2CC/*KIN14/CIN14/A22/PA6	4	10 PS2CD/*KIN15/CIN15/A23/PA7
5	91 HIRQ3/D0/PB0	6	90 HIRQ4/D1/PB1
7	81 *CS3/D2/PB2	8	80 *CS4/D3/PB3
9	69 PB4/D4	10	68 PB5/D5
11	58 PB6/D6	12	57 PB7/D7
13	56 P47/PWX1	14	55 P46/PWX0
15	54 P45/TMR11/HIRQ12/CSYNCl	16	53 P44/TMO1/HIRQ1/HSYNCO
17	52 P43/TMC11/HIRQ11/HSYNCl	18	51 P42/TMR10/SCK2/SDA1
19	50 P41/TMO0/RxD2/IrxD	20	49 P40/TMC10/TxD2/IrTxD
21	GND	22	GND
23	45 P77/AN7/DA1	24	44 P76/AN6/DA0
25	43 P75/AN5	26	42 P74/AN4
27	41 P73/AN3	28	40 P72/AN2
29	39 P71/ANO	30	38 P70/ANO
31	36 AVref	32	32 P64/FTIC/CIN4/KIN4/CLAMPO
33	29 P63/FTIB/CIN3/*KIN3/VFBACKI	34	33 P65/FTID/CIN5/*KIN5
35	28 P62/FTIA/CIN2/*KIN2/VSYNCl/TMIY	36	34 P66/FTOB/CIN6/*KIN6/*IRQ6
37	27 P61/FTOA/CIN1/*KIN1/VSYNCO	38	35 P67/TMOX/CIN7/*KIN7/*IRQ7
39	26 P60/FTCI/CIN0/*KIN0/HFBACKI/TMIY	40	14 TxD0/P50
41	13 RxD0/P51	42	12 SCL0/SCK0/P52
43	96 P83	44	95 HIFSD/P82
45	94 GA20/CS2/P81	46	93 HA0/P80
47	VCC	48	VCC
49	GND	50	GND

J3 F-ZTAT™ インターフェース (20P)

プログラマ		プログラマ	
No.	信号名	No.	信号名
1	*RES	1	*RES
3	FWE	4	GND
5	MD0	6	GND
7	MD1	8	GND
9	I/O0	25	*ADTRG/*IRQ2/*ECS2/*LWR/P90
11	I/O1	24	*IRQ1/P91
13	I/O2	23	*IRQ0/P92
15	TXD	97	TxD1/*IRQ3/P84
17	RXD	98	RxD1/*IRQ4/P85
19	SCK	99	SCL1/SCK1/*IRQ5/P86
		20	VIN

本ボードを弊社オンボードプログラマで使用時の端子設定は次の通りとなります <ブートモード>

端子設定項目	設定	コネクタ	接続端子
MD0	L	5番	MD0
MD1	L	7番	MD1
FWE	-	3番	NC
I/O0	H	9番	P90
I/O1	H	11番	P91
I/O2	H	13番	P92

CPU 側ブートモード時の端子処理は次の通りです。
MD0・MD1=0 P90・P91・P92=1

対応プログラマ:

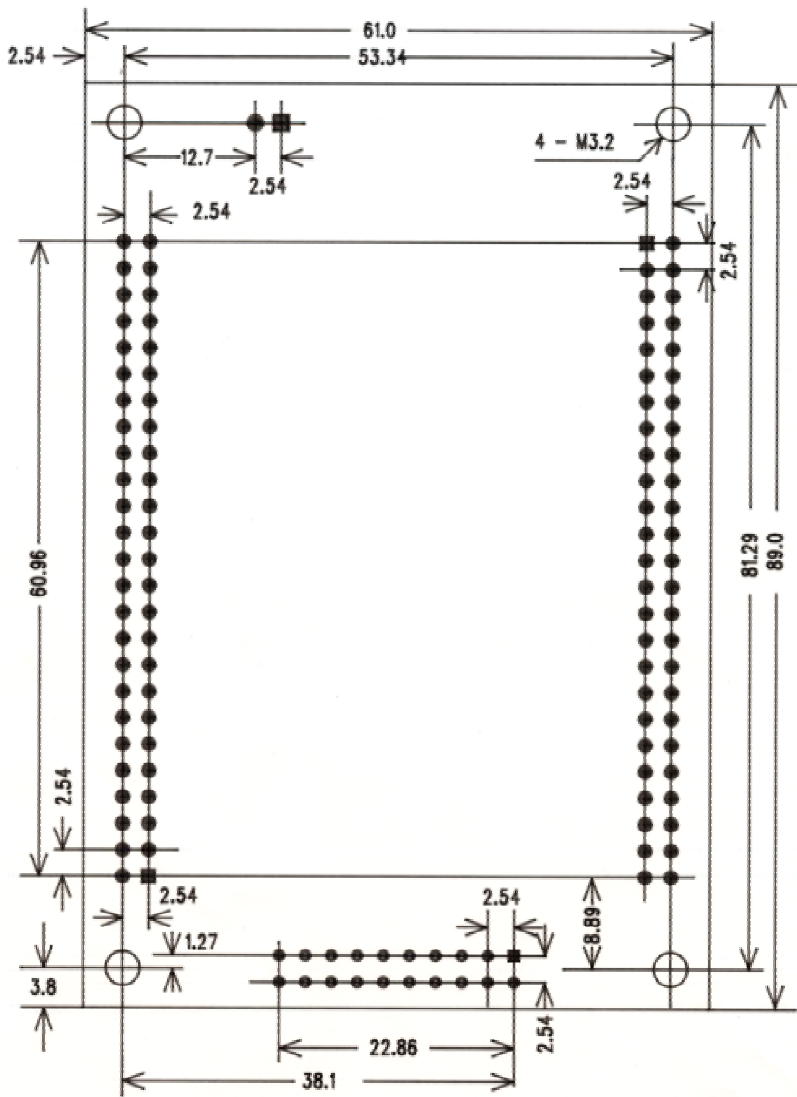
**FLASH2
FLASHMATE5V1**

書き込み終了時、書き込まれたプログラムがリセットスタート致しますので、CPUボード側スイッチは動作モードの設定をお勧めします。(動作モード表参照)

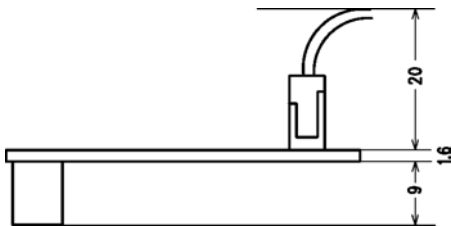
F-ZTAT™ は株式会社ルネサステクノロジの商標です。CPU 側仕様は、必ずルネサステクノロジ当該 CPU ハードウェアマニュアルをご確認下さい。

HSB8S2144F シリーズ

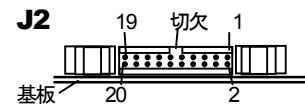
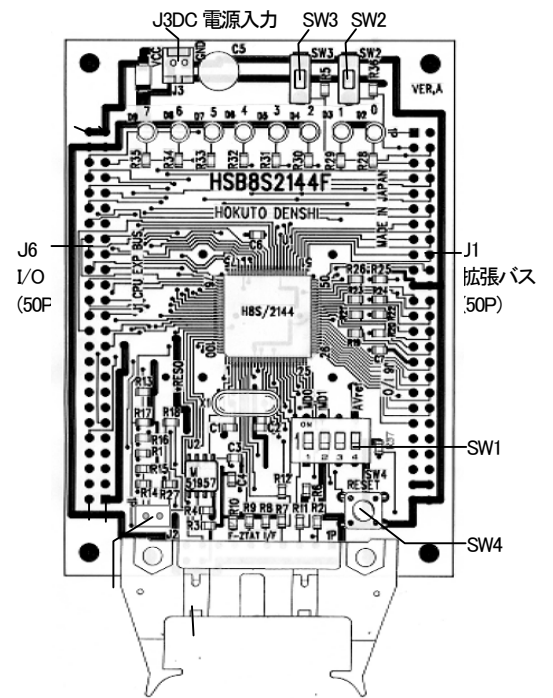
【コネクタ寸法図】



HSBシリーズ タイプF 共通側面寸法図



【ボード配置図】



反対面実装コネクタ (備考3 参照)

